



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ユニカフェ

コード番号 2597 URL <http://www.unicafe.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中村 拓治

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長

(氏名) 長縄 明彦

TEL 03-5400-5444

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	8,350	△14.2	138	△51.9	73	△70.1	86	△64.6
24年3月期第2四半期	9,736	—	288	—	246	—	243	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 118百万円 (△57.5%) 24年3月期第2四半期 279百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	6.23	—
24年3月期第2四半期	17.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	12,069	6,151	51.0
24年3月期	12,552	6,102	48.6

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 6,151百万円 24年3月期 6,102百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,832	△19.7	256	2.4	240	△5.5	204	△16.0	14.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	13,869,200 株	24年3月期	13,869,200 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	26,030 株	24年3月期	25,830 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	13,843,220 株	24年3月期2Q	13,843,690 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日までの6ヶ月間）における当社グループを取り巻く環境は、東日本大震災の影響により停滞していた経済活動に回復傾向が見られたものの、欧州債務危機による金融市場の動揺や米国経済の景気回復懸念等に伴う円高基調など、金融情勢は不安定さを増し、先行きは依然として不透明な状況が続いております。このような状況の中、レギュラーコーヒー業界につきましても、同業各社が激しい競争環境の下で消耗戦を繰り広げている状況が長期間にわたって続いており、景気の先行きに対する不透明感から、消費者の消費志向も節約型・低価格志向型が定着しております。

さらに当社の業績に多大な影響を及ぼすコーヒー生豆相場につきましては、前年同期と比べ、安定して推移しておりますが、なお先行きは不透明な状況が続いております。

このような経営環境の下、当社グループは、「コーヒーをコアに人と環境にやさしい企業を目指す」の企業理念の下、「選択と集中」「シナジー効果の実現」を基本方針とし、事業基盤の強化と企業価値向上に向け、業務活動に関わる法令等の遵守を徹底し、内部統制の強化に注力するなど、「コーヒー焙煎のユニカフェ」をあらゆる面で強化する取り組みを進めております。

「選択と集中」につきましては、営業リソースを「コーヒー関連事業」に集中し、営業体制・製品開発体制の強化と周辺事業からの撤退を進めており、「コーヒー関連事業」以外の事業は、連結子会社の上海緑一企業有限公司を通しての事業である「パルプモールド事業」のみとしております。

「シナジー効果の実現」につきましては、神奈川総合工場を戦略基地とした生産工程全般の効率化を進め、安全、品質、技術力の強化を図るとともに、管理体制の一層の強化に努め、「コーヒー関連事業」の売上拡大に注力しております。

セグメントの状況は、次のとおりであります。

① 「コーヒー関連事業」

「コーヒー関連事業」につきましては、国内において主力の工業用コーヒーの販売数量の増加によるシェアの拡大に注力いたしました。業務用コーヒー・家庭用コーヒーの分野におきましては、OEM製品、NB・PB製品の販売に注力し、新規取引先の開拓と、既存取引先に対する新製品提案による販売数量の増加に注力いたしました。

工業用コーヒーにつきましては、当第2四半期連結会計期間に入り、主要取引先を中心に販売数量が好調に推移し、前年を上回る結果となりましたが、その他の取引先においてシェアの拡大に苦戦するなど、販売数量が伸び悩みました。その結果、第1四半期連結会計期間での販売数量の不振を補うことに留まり、当第2四半期連結累計期間の販売数量は前年をやや下回る結果となりました。

業務用コーヒー・家庭用コーヒーにつきましては、販売管理体制の強化と営業活動の強化により、新規取引先の獲得と主要取引先からの販売数量が、引き続き好調に推移し前年を上回る結果となりました。

以上の結果、コーヒー生豆相場が前年に比べ低い水準で推移したことに伴い、販売価格が低下したため、当第2四半期連結累計期間の売上高は82億59百万円（前年同期比14.4%減）となりました。利益面では、生産工程の効率化と、販売費及び一般管理費の削減に努めましたが、業務用コーヒー・家庭用コーヒーの売上増加に伴う変動費増加を補えず、また、依然として厳しい競争環境が続いているため、営業利益は1億26百万円（前年同期比54.3%減）となりました。

② 「パルプモールド事業」

「パルプモールド事業」につきましては、連結子会社の上海緑一企業有限公司を通しての事業であり、当第2四半期連結累計期間の売上高は91百万円（前年同期比11.0%増）、その営業利益は、販売費及び一般管理費の抑制に努めた結果、11百万円（前年同期比14.4%増）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は83億50百万円（前年同期比14.2%減）、営業利益は1億38百万円（前年同期比51.9%減）、経常利益は73百万円（前年同期比70.1%減）、四半期純利益は86百万円（前年同期比64.6%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産の部

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比4億83百万円減少し、120億69百万円となりました。増減の内訳は、流動資産が3億51百万円減少いたしました。その主な要因は、受取手形及び売掛金が1億14百万円増加しましたが、現金及び預金が4億32百万円減少したことによります。また、固定資産が1億32百万円減少いたしました。

② 負債の部

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末比5億33百万円減少し、59億17百万円となりました。増減の内訳は、流動負債が5億31百万円減少いたしました。その主な要因は、支払手形及び買掛金が3億3百万円、短期借入金3億円それぞれ減少したことによります。また、固定負債が1百万円減少いたしました。

③ 純資産の部

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比49百万円増加し、61億51百万円となりました。この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は51.0%となり、前連結会計年度末比2.4ポイント増加しております。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ4億32百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には15億1百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、94百万円(前年同四半期は11百万円の獲得)となりました。これは主に、売上債権の増加1億13百万円、仕入債務の減少3億3百万円及び、減価償却費1億25百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は37百万円(前年同四半期は45百万円の使用)となりました。これは主に、投資計画に基づいた1億32百万円の有形固定資産の取得及び、投資有価証券の売却1億60百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は3億75百万円(前年同四半期は7億5百万円の使用)となりました。これは主に、短期借入金の減少3億円、配当金の支払額68百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想及び個別業績予想につきましては、平成24年11月8日公表の「営業外収益、営業外費用及び特別利益の計上並びに平成25年3月期第2四半期業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,933,786	1,501,226
受取手形及び売掛金	4,152,698	4,266,774
商品及び製品	259,224	245,723
仕掛品	30,597	34,076
原材料及び貯蔵品	284,935	267,541
繰延税金資産	111,597	111,597
その他	70,460	65,159
貸倒引当金	△620	△637
流動資産合計	6,842,680	6,491,463
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,868,338	3,970,771
減価償却累計額	△1,343,826	△1,407,928
減損損失累計額	△145,763	△147,539
建物及び構築物（純額）	2,378,749	2,415,303
機械装置及び運搬具	3,223,773	3,275,306
減価償却累計額	△2,621,717	△2,675,582
減損損失累計額	△177,670	△179,835
機械装置及び運搬具（純額）	424,384	419,888
土地	1,639,318	1,639,318
建設仮勘定	15,435	17,325
その他	211,854	213,552
減価償却累計額	△170,554	△177,898
減損損失累計額	△1,338	△1,354
その他（純額）	39,960	34,299
有形固定資産合計	4,497,848	4,526,134
無形固定資産		
ソフトウェア	5,824	7,878
その他	77,763	77,829
無形固定資産合計	83,588	85,707
投資その他の資産		
投資有価証券	726,292	588,087
破産更生債権等	3,981,999	3,981,999
その他	69,183	55,584
貸倒引当金	△3,648,686	△3,659,686
投資その他の資産合計	1,128,789	965,984
固定資産合計	5,710,225	5,577,827
資産合計	12,552,906	12,069,291

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,635,938	4,331,946
短期借入金	1,400,000	1,100,000
未払法人税等	15,280	29,930
賞与引当金	47,433	54,868
その他	285,873	336,255
流動負債合計	6,384,526	5,853,000
固定負債		
繰延税金負債	7,006	23,157
負ののれん	26,977	13,488
その他	32,037	27,832
固定負債合計	66,021	64,478
負債合計	6,450,547	5,917,479
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,216,500	4,216,500
資本剰余金	1,020,799	1,020,799
利益剰余金	953,873	970,895
自己株式	△38,814	△38,889
株主資本合計	6,152,358	6,169,305
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,674	41,818
為替換算調整勘定	△62,674	△59,311
その他の包括利益累計額合計	△49,999	△17,492
純資産合計	6,102,358	6,151,812
負債純資産合計	12,552,906	12,069,291

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	9,736,038	8,350,893
売上原価	8,696,145	7,394,088
売上総利益	1,039,892	956,804
販売費及び一般管理費	751,867	818,387
営業利益	288,024	138,416
営業外収益		
受取利息	1,345	0
受取配当金	1,314	1,228
負ののれん償却額	13,488	13,488
受取家賃	14,670	8,814
受取保険金	667	32,868
その他	4,104	8,909
営業外収益合計	35,590	65,310
営業外費用		
支払利息	3,912	3,070
不動産賃貸原価	30,668	55,336
投資事業組合運用損	40,519	54,036
その他	1,822	17,610
営業外費用合計	76,923	130,053
経常利益	246,691	73,673
特別利益		
投資有価証券売却益	—	34,637
特別利益合計	—	34,637
特別損失		
固定資産除却損	46	—
特別損失合計	46	—
税金等調整前四半期純利益	246,644	108,310
法人税、住民税及び事業税	3,800	22,072
法人税等調整額	△1,017	—
法人税等合計	2,782	22,072
少数株主損益調整前四半期純利益	243,862	86,238
四半期純利益	243,862	86,238

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	243,862	86,238
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	31,855	29,144
為替換算調整勘定	3,905	3,362
その他の包括利益合計	35,760	32,506
四半期包括利益	279,623	118,745
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	279,623	118,745
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	246,644	108,310
減価償却費	116,854	125,242
負ののれん償却額	△13,488	△13,488
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	52	11,017
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4,351	7,435
受取利息及び受取配当金	△2,659	△1,228
支払利息	3,912	3,070
固定資産除却損	46	—
投資事業組合運用損益 (△は益)	40,519	54,036
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△34,637
売上債権の増減額 (△は増加)	△348,388	△113,654
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△103,407	27,652
仕入債務の増減額 (△は減少)	171,564	△303,980
その他	△90,247	41,209
小計	17,051	△89,015
利息及び配当金の受取額	2,537	1,137
利息の支払額	△4,210	△3,093
法人税等の支払額	△3,800	△3,800
法人税等の還付額	—	518
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,578	△94,252
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△65,355	△132,013
無形固定資産の取得による支出	△3,460	△3,000
投資有価証券の取得による支出	△1,500	△1,509
投資有価証券の売却による収入	—	160,033
貸付金の回収による収入	7,798	—
その他	16,716	13,599
投資活動によるキャッシュ・フロー	△45,800	37,110
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△700,000	△300,000
自己株式の取得による支出	△52	△8
配当金の支払額	△372	△68,816
その他	△4,787	△6,665
財務活動によるキャッシュ・フロー	△705,212	△375,490
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,048	72
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△738,385	△432,559
現金及び現金同等物の期首残高	1,418,680	1,933,786
現金及び現金同等物の四半期末残高	680,294	1,501,226

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。